

夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山産業高校農業クラブが躍進！3人が全国の舞台へ

篠山産業高校農業クラブが、県大会で優秀な成績を収めました。農業鑑定競技「生活」の分野では、同校が3年連続で最優秀賞を獲得し、県大会の上位を独占。大山瑞葵さんが最優秀賞、中山優花さんが2位、青木舞佳さんが3位入賞に輝き、全国大会への出場を決めました。全国大会は10月20日から22日まで高知県で開催され、衣食住や農業に関する専門知識を問う40問に挑みます。大山さんは「最優秀賞を取れると思っていませんでした。全国では上位に入りたい」。中山さんは「全国で上位50人に入りたい」、青木さんは「さらに上をめざしたい」と、抱負を語りました。意見発表では、森本陽和斗さん（3年）が分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」で3位、小西和佳奈さん（2年）が分野Ⅱ類「国土保全・環境創造」で2位に入賞しました。森本さんは農業の高齢化や後継者不足、小西さんは黒大豆栽培を通して気候変動などの課題について、その思いを伝えました。



上段：森本陽和斗さん、小西和佳奈さん（左から）
下段：谷琉南さん、中山優花さん、大山瑞葵さん、青木舞佳さん（左から）

このほか、来年度、滋賀県で開催される農業クラブ連盟大会のポスターとスローガンでも、篠山産業高校の生徒がともに最優秀賞を受賞しました。ポスターは中山優花さんの作品で、地域の特色と大会の活気を表現。スローガンは谷琉南さん（3年）の「LET's びわGo（湖）!! 飛び込む勢いで挑め 農クの世界」が選ばれました。

このほか、来年度、滋賀県で開催される農業クラブ連盟大会のポスターとスローガンでも、篠山産業高校の生徒がともに最優秀賞を受賞しました。ポスターは中山優花さんの作品で、地域の特色と大会の活気を表現。スローガンは谷琉南さん（3年）の「LET's びわGo（湖）!! 飛び込む勢いで挑め 農クの世界」が選ばれました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX506-2366

大学連携からの「まちづくり協議会」支援

神戸大学と市との連携活動の一つとして、市内のまちづくり協議会の支援があります。今回はその中の、今田まちづくり協議会の「まちづくり計画」の見直しを紹介します。この支援は兵庫県多自然地域づくりアドバイザー派遣事業を活用したものです。



「まちづくり計画」の見直しでともに考えたこと

- ①若い世代によるワーキングチームを立ち上げ
- ②地域の「問題」や「できないこと」から考えるのではなく、「こんな今田になったらいい」「こんなことをやってみたい」という理想や希望から出発する

今後の予定

「自分なら何ができるか」という具体的な行動を念頭に、地域の将来像としてまとめていく

神戸大学からは中塚雅也教授や学生たちが、このプロセスに伴走しています。このような、まちづくり協議会の活動支援には、（一社）丹波篠山キャピタルにおいても積極的に取り組まれています。ぜひご相談ください。



丹波篠山
フィールドステーション



神戸大学丹波篠山市
農村イノベーションラボ

「一般社団法人丹波篠山キャピタル」を共同設立しています。大学地域連携は20年の節目を迎えました。これからも市民の皆さんとともに、新しい取り組みにチャレンジしていきます。

ユネスコ創造都市として工芸家の活動が盛んに。市内で活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた思いや制作のこだわりを紹介します。



催しのご案内 丹波篠山グッドクラフト マーケット

- 日時
11月22日（日）・
23日（祝・月）
10時～16時
- 場所
大手前南駐車場（北新町）

（※1）半乾きの素地に印花などの印花を押して模様を施し、そこへ化粧土を塗り込むことで文様を浮かび上がらせる技法

だけに白化粧を施し、器の表面に白い言葉が浮かび上がるように仕上げられています。「5年ほど前に遊び心で作り始めたところ、人気となりました。まずは一度、手に取ってもらいたい。そして、その器でコーヒーを飲んで、リラックスタイムを過ごしたい」と、今後の制作への思いを話しました。

つくる人 Vol.18

もりわ かなめ 森脇要さん



土の質感を残したマグカップに浮かぶ、「珈琲」「コーヒー」などの白い文字。ほかにも「休憩中」「休肝日」「ファンアル」など、さまざまな言葉を取り入れた、ふとした瞬間にクスッと笑えるような遊び心のある器を生み出しているのが、陶芸家の森脇要さんです。

島根県松江市出身の森脇さん。もともと、手に職を持つ「職人」に憧れていたこともあり、大学を卒業後、京都伝統工芸専門学校へ進学されました。2007年には丹波焼の信水窯・市野信水さんに師事し、本格的に陶芸の道を歩み始めました。長年の修業を経て、2020年に独立。現在は、母親の実家で、かつて祖父が暮らしていた古民家を改修した工房で、マグカップをはじめ、皿や小鉢、プレート、お茶碗など、日々の生活で気軽に使える器を中心に丁寧に作り続けています。

森脇さんの器で目を引くのが、文字が入ったマグカップ。文字の部分

今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、お越しいただいた順に面談いただきます。

と き 10月13日(火) 16:00～19:00
ところ 本庁舎3階 応接室
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

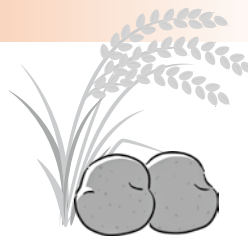
市長の **ほっと HOT** とーく

丹波篠山の時代をつくろう



実りの秋を迎えて

暑い暑い夏が過ぎ、いよいよ実りの秋。丹波篠山が一段と注目される季節です。丹波篠山産といえば、「おいしい、本物、品質が高い」と大変良い評判です。これからもこの丹波篠山ブランドを大切に守っていきましょう。



特産「山の芋」を守ろう

山の芋は、当時篠山にあった兵庫農科大学(現在の神戸大学農学部的前身)や兵庫県の指導により品種改良された丹波篠山市の代表的な農産物です。栽培が難しいことから、近年では栽培農家・面積ともに急激に減っています。

市では、多くの方に山の芋の栽培に取り組んでいただけるよう、新規栽培者への支援や栽培面積に応じた奨励金を増額する補正予算案を長月議会へ提案しています。来年度に向けさらに検討を進めています。これからも丹波篠山市が日本一の山の芋の産地であるように取り組みます。

■令和8年度の拡充内容(長月議会提案内容)

- ・新規栽培者への支援(1アール当たり、上限5アール):2万円
- ・栽培面積に応じた奨励金(10アール当たり):10万円(市費6万4,000円と国費3万6,000円)

JAも色々な支援を検討されています。

オーガニックビレッジ

市は、令和5年4月にオーガニックビレッジ宣言をしました。このオーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みをすすめる先進的モデル地区となる市町村のことをいいます。自然や生態系に配慮して、健康に良い、そして世界的に持続可能な農業をめざそうというものです。

農都のめぐみ米

農都のめぐみ米は、農薬や化学肥料の使用を兵庫県の基準から5割以上抑え、田んぼの生きものに配慮して中干しするなど、環境にやさしくておいしいお米です。栽培しているのは市内の13の営農組合などの団体と農家さん約350軒。市内の学校給食すべてのごはんがこの農都のめぐみ米です。

農都のまほろば水路

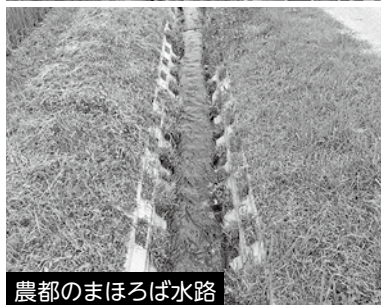
環境に配慮した水路「農都のまほろば水路」の取り組みを推進しています。まほろばとは、「素晴らしいところ」という意味で、全国的にも注目され、視察も多くあります。



オーガニックビレッジ



農都のめぐみ米



農都のまほろば水路

第1回

丹波篠山市 芸術文化の祭典への 出品作品を募集します

これまで開催してきた「丹波篠山市民文化祭」と「丹波篠山市展」が一つになり、新たに「**丹波篠山市芸術文化の祭典**」として開催します！

11月17日(火)～22日(日)に丹波篠山市民センターで開催する、丹波篠山市芸術文化の祭典(作品展示)への出展作品を募集します。

部 門	一般部門(絵画・彫刻・工芸・書・写真) 特別部門(盆栽・山野草・生け花)
出品点数	1部門につき1人1点
出 品 料	1点につき1,000円 (市民、学生および無鑑査作家は無料)
出品受付	【一般部門】 ①11月8日(日)10:00～15:00 ②11月9日(月)10:00～14:00 【特別部門】 11月19日(木)10:00～12:00

出品申し込みについて

募集要項を必ず確認し、出品申込書に必要な事項を記入またはオンラインからお申し込みください。

作品搬入日に作品・必要書類・出品料を丹波篠山市民センターまでお持ちください。



市ホームページ



第1回

丹波篠山市芸術文化の祭典

心豊かで活力にあふれた地域の実現と、芸術文化に触れる機会を提供することを目的に開催します。

作品展示 会 期 11月17日(火)～22日(日) 9:30～16:00

(最終日は14時まで)
※特別部門のみ11月20日(金)～22日(日)。
※表彰式は11月22日(日)11時から(予定)。

会 場 丹波篠山市民センター

芸能発表 日 時 11月23日(月・祝) 12:30～16:00

会 場 田園交響ホール

